

# 総合防災公園の整備内容をお知らせします

本市は東日本大震災の津波により大きな被害を受けました。今後、予想される大規模な災害に備え、津波による被災の恐れがある地域に近接し、被災時には自衛隊や消防などの救援部隊の後方支援活動の拠点、あるいは地域住民の緊急避難場所となる「総合防災公園」を整備します。今回は主な整備内容や今後の予定などをお知らせします。

都市計画課 ☎ 52-2151

## 整備内容など

### ■ 全体計画

公園を整備する面積約30㉩のうち、半分の約15㉩を森林として残します。また、残りの約15㉩の中に芝生化した平場や駐車場を約8㉩、そのほか夏井地区と中心市街地を結ぶ道路などを整備します。

### ■ 第1期工事

事業費は約14億円で、事業期間は平成25～27年度。用地取得などのほか、道路や平場の一部を整備します。

### ■ 都市計画事業の流れ

1月28日、市都市計画審議会にて総合防災公園の計画(案)を審議。その後、県との協議を経て、2月12日に公園の名称や区域などの都市計画決定をしました。今後、県知事の事業認可を受けて事業を進めます。

### ■ 都市計画決定の内容

- ▶ 名称(種別)…久慈市総合防災公園(総合公園)
- ▶ 位置(面積)…旭町第7地割、源道第13地割、夏井町大崎第3地割、第4地割、第5地割、第9地割の各一部(約30.2㉩)  
※都市計画決定した詳しい内容は、都市計画課で縦覧できます

## 主な施設

### ■ 運動広場や駐車場

平場部分を活用して、概ね1～2.5㉩程度の芝生化した運動広場4カ所のほか、駐車場4カ所(合計約2㉩)を整備します。

### ■ 野外活動の場

森林部分を活用してアスレチックや森林体験、水辺のふれあい体験ができるゾーンを形成します。

### ■ 公園内の道路

公園内には幅員約10㉩以上を確保し、片側1車線の道路を約1.5㉩を整備します。



### ■ 今後の事業の流れ

事業の内容	H25年度		H26年度		H27年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
都市計画決定・事業認可の手続き		→				
測量調査設計、用地測量、補償調査			→			
地質調査			→			
用地買収・補償				→		
造成工事					→	一部造成工事

**公園の役割**  
これから整備する総合防災公園には、次のような大きな3つの役割があります。

**① 後方支援の拠点**  
東日本大震災時に果たした近隣市町村への救援・復旧活動の経験を踏まえ、緊急時には自衛隊や消防などの救援部隊が活動する拠点となります。また、岩手県が検討を進めている後方支援拠点としての位置付けについても働きかけを行っています。

**② 地域の緊急避難場所**  
緊急時には、津波による被災が想定される湊町や夏井町

東日本大震災時、全国から掛けつけた自衛隊の車両。物資の輸送や炊き出しなどの救援活動に尽力しました

**③ 市民の憩いの場**  
平常時には市民が憩いの広場として活用できるよう、平場を芝生化するなどして整備します。公園内ではサッカーやフィールドアスレチック、散策など、スポーツ活動や野外活動にも利用できます。

大崎地区をはじめとする地域住民の緊急避難場所として活用できます。



昨年9月の県総合防災訓練でテントを設置する自衛隊

また、徒歩や自転車、自動車など、多様な避難手段にも対応できる場所であり、多くの市民が容易に避難することができます。